

令和 4 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	中学 10	学校名	県立水海道第一高等学校附属中学校						課程		学校長名		高橋 淳				
副校長	福田 崇				教頭名 倉持 訓						事務（室）長名		柴崎 聖司				
教職員数	教諭	8	養護教諭	0	常勤講師	0	非常勤講師	0	実習教諭、実習講師、実習助手		0	事務職員	1	技術職員等	0	計	8
生徒数	1 年				2 年				3 年				合計				合 計 クラス数
	男		女		男		女		男		女		男		女		
	2 0		2 0		0		0		0		0		2 0		2 0		

2 目指す学校像

- ・将来を担う人材を育成する学校
- ・地域に貢献する学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習および進路指導	○「あなたにとっての” おもしろい” をどんどん見つけ、” やる気” をぐんぐん伸ばします。」宣言を実行し、確かな学力を育成できるようにするため、教育課程の特例を生かした先取り学習と授業時間数増、及び探究活動の充実を行う。 〈先取り学習〉高校の内容等の一部を実施（数学、英語） 〈1 単位時間〉深い学びを実現する 55 分授業【中学・高校】 〈授業時間増〉週あたり 33 時間（標準授業時数 29 時間）、	・特色ある教育課程を生かし、高校の内容の一部を実施する際、高度な授業になりすぎることなく、全員が学習内容を身に付けることができるようになること。

別紙様式 1 (中)

	国語・数学・英語が週 5 時間の授業	
基本的生活習慣の確立	○豊かな人間性やコミュニケーション能力を育成する。 ○複数担任制を導入することにより、生徒一人一人について丁寧な対応している。また、全職員が教室を随時訪れ、生徒との好ましいコミュニケーションを図る。 ○生徒自身が安心して生活できるよう定期的な面談を取り入れ、多感な発達段階をサポートする。	・言動や行動を注視し、内面的な手立てが必要な生徒に、各部署と連携して支援し、好ましい人間関係、友人関係を構築していく。 ・全職員で共通理解を図り、統一した指導を徹底する。
特別活動の充実	○新入生 40 名が 3 つの運動部と 3 つの文化部で部活動が始まる。 ○生徒主体で学校行事や宿泊学習などの行事を企画、運営していく。 ○文化祭や亀陵踏破会などの学校行事、総合的な学習の時間等において異年齢交流の取組を実施する。 ○キャリア教育は学校の教育活動の全体を通して行い、生徒自身のキャリアを形成するために必要となる様々な汎用的能力を育てていく。	・学校行事への主体的な参加や学級活動、委員会活動に主体的に取り組み、グローバル社会に適応できるコミュニケーション能力等を育む。 ・部活動の数、運営方法の検討が常に必要である。
保護者・地域との連携	○積極的な広報活動および開かれた学校づくりを推進した結果、志願者数は 3.8 倍となった。 ○授業公開、学校説明会および定期的なホームページの更新を通し、保護者・地域に情報発信をしていく。	・今年度開校したので、課程、地域社会との連携を目指したより効果的な活動を目指していく。
働き方改革について	○スムーズな学校生活を送ることができるように生活環境や学習環境について生徒の実態に即して対応していく。 ○各種計画や準備を行うには多くの時間を要するため、業	・業務を適切に分担することにより、効果的な運営になるように努める。

	務や担当の見直しを行う。	
--	--------------	--

4 中期的目標

1	中高一貫教育校の特色を生かし、高校での学習内容と関連づけた魅力ある授業を創造することにより、主体的で積極的な学習への姿勢を育むとともに深い学びの実現を図る。
2	社会の変化に対応し、茨城から世界に羽ばたく人材、グローバルな視野をもって地域社会の発展に貢献する人材を育成する。
3	地域や同窓会のネットワークも活用し、各界の第一線で活躍する講師による講演会を開催するなど、あらゆる機会を通じて生徒の進路意識を高めるとともに、視野を広げ、高い志を涵養する。
4	様々な課題に向き合い、効果的に対応するために、附属中学校・高等学校を一体化した校務分掌の編成を行う。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
授業の充実と学習習慣の確立	① 言語活動を充実させ、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう授業の工夫・改善をし、ICT の日常的な活用により個別最適な学びと協働的な学びを展開する。 ② 授業時間、授業時数のメリットを活かす。特に、数学科・英語科においては少人数授業を展開し、きめ細かな指導を充実させる。 ③ 授業を基本とし、授業以外でも生徒の質問等に答える環境や課外も適切に設定し、将来の進路希望実現に資する学力の向上を図る。 ④ 教員のさらなる授業の質の向上を目指して、授業に係る研修機会の確保と充実に努める。
基本的生活習慣の確立	⑤ 生徒とのコミュニケーションを通して基本的生活習慣の指導を図り、海校生として品位ある行動を確立させる。

別紙様式 1 (中)

	⑥ 二人担任制を生かし、担任と生徒による個別面談を通して一人一人の悩みや不安に寄り添い、生徒理解に努める。教育相談体制を充実させ専門家の積極的・効果的な活用と関係機関との連携に努める。
特別活動の充実	⑦ 学校行事、学級活動、生徒会活動などの特別活動の充実をはかり、至誠、剛健、快活の精神の確立に努める。 ⑧ 可能な限り高校と連携した特別活動を計画し、各行事の円滑な実施と充実に努め、新たな伝統の創造を目指す。
保護者・地域との連携	⑨ スクールガイド、学校説明会、ホームページの定期的な更新および広報誌等を通して積極的に発信する。 ⑩ 学校と地域の役割分担を明確にした上での連携を推進し、生徒の積極的なボランティア活動を推進する。
コンプライアンスと働き方改革	⑪ 信用失墜行為を絶対にしない。 ⑫ 月の超過在校等時間が 45 時間を超えないようにする。